

## 個人サンプリング法：A・B測定とC・D測定の選択

### 環境・健康

作業環境測定の方法として、従来の測定（A・B測定）と個人サンプリング法（C・D測定）があります。どの方法で測定するかは事業者の任意の選択に委ねられています。なお、A・B測定、C・D測定とも資格を有する作業環境測定士が行う必要があります。

下記に個人サンプリング法による作業環境測定の選択について示しました。

### 個人サンプリング法による作業環境測定の選択

※個人サンプリング法による作業環境測定を実施するか否かについては、  
⇒事業者の任意の選択に委ねる。

※個人サンプリング法による測定が可能な作業については、  
⇒個人サンプリング法（C・D測定）及び従来の方法（A・B測定）のいずれによっても問題ない。  
⇒個人サンプリング法（C・D測定）と従来の方法（A・B測定）の混合は認められない。

※試料の採取を分割しても、試料の数が5に満たない場合、  
（分割した試料採取時間では、測定精度が確保できない場合）

※或は、作業に従事する労働者が1人であり、かつ1日の作業時間が15分未満の場合は、  
⇒C測定或はD測定の要件を満たさないため、個人サンプリング法は適用できない。  
⇒従来の方法（A・B測定）で実施する。

### kes サポート

目的	課題	kesサポート
把握	作業環境への有害物の発散状況	作業環境測定
	作業者の有害物のばく露状況	個人ばく露モニタリング
	既設の局所排気装置の性能	局所排気装置性能検査
改善	作業環境への有害物の発散抑制	排・換気設備の改善・設置
	有害物の体内侵入防止	呼吸用保護具、保護手袋等の使用
教育	有害物取扱い作業者の衛生意識の向上	労働衛生教育